



- 1.焼きたてのパンの香りが漂うパティスリー アンサンプルの工房
- 2.畳床製造所での作業風景。国産のひのきの間伐材のみを使用しています
- 3.パティスリー アンサンプルの店内。明るい雰囲気です。リピーターも多いです
- 4.たっぴいま焼き上がったばかりのパン
- 5.リンゴのバラが咲き誇る大人気のローズパイ
- 6.パティスリー アンサンプル 下伊那郡松川町元大島1341-1 0265-34-0226



「巻頭特集」 社会福祉法人 アンサンプル会

ものづくりで生きる力を育む

社会福祉法人アンサンプル会は、障がいがあっても働き、自立し、生きがいを持って仲間とともに地域のなかで生きる人生を支援する団体です。これまでに有機野菜の生産やスイーツ・パンの製造、ひのき畳床製造などに取り組んできました。授産製品とは思えない、ニーズのある個性的な製品を企画生産し、今月から、ひのき畳床の中国輸出がよいよスタートします。大きなビジネスチャンスを手にして作業場は、共に働く人々の活気に沸いています。

親たちが決起して発足した アンサンプル会のあゆみ

アンサンプル会は養護学校高等部などを卒業した18歳以上の人の就労や共同生活を支援する団体です。その始まりは平成9年、「飯田養護学校の卒業後の子どもたちの居場所をつくりたい」と考えた現在理事長を務める小椋年男さんと常務理事の雅子さん夫婦が、親たちに呼びかけて開店した喫茶店「アンサンプル」でした。「私たち親が死んだ後、兄弟たちにその世話を押し付けてはいけない。障がいがあっても友達や仲間とともに、自立して生きられる場所をつくってあげたい」との思いで活動が始まりました。

しかし、開店しても順風満帆とはいきません。その当時の小椋さんたちは福祉の制度に関する知識をまったく持っていませんでした。そこで、作業所設立に向け、勉強を重ね、県の認可を取得。アンサンプルは平成11年共同作業所として再スタートしました。

共同作業所は障がいのある人が集まり、仕事をやる場所です。当初は喫茶店運営でしたが、養護学校から

「アンサンプルはゆるやかな結びつき大きな家族」と小椋さん。利用者は職員を「先生」といわず、みんな名前と呼び合うのだそうです。

一般流通の土俵に乗る 製品づくりを心がけて

アンサンプル会の設立から約16年が経った現在、在宅で通勤する人も含め、総利用者数は松川・伊那合わせて約160人。彼らの手で野菜や食品、木工製品や薪など、さまざまな製品がつくられるようになりました。発足当初からの喫茶店事業は平成28年に新設された「パティスリー アンサンプル」に引き継がれ、大好評のローズパイ、ケーキやクッキーなどのスイーツのほか、国産小麦などの原材料にこだわったパンづくりも始まりました。

「野菜船」は元々、東京からこの地に移住してきた小椋さん夫婦が地域の生産者の協力を得て、信州の四季の野菜を都会に送ろうとした事業。アンサンプルの運営に移行してからは所有する畑を少しずつ広げ、現在は合計4ヘクタールの農園に成長しています。

小椋さんは「授産製品」というと、同情から一度は買ったださるでしょう。しかし、私たちはこの仕事で自立して、暮らしていかなければならない。障害のある人たちがつくったという注釈抜きで食べていただき、誰にも選んでもらえるものをつくらなければ。普通に市場で競争できる製品をつくりたいと思い、一生懸命がんばってきました。だから、スイーツや

実習生も受け入れるようになると、次第により広い作業場や職種、職員が必要になりました。そこで、将来を見据えてアンサンプルは法人化を目指し、平成13年に法人格を取得。翌年、「アンサンプル会」として本格的な授産施設「ワーキングスタジオ アンサンプル（のちにアンサンプル松川）」を設立します。また、同時に遠距離から通う人、家庭から独立して一人暮らしを希望する人のために、グループホーム松川の1号棟も開設しました。

「知的障がいがあっても、同世代



小島三佳さん
【こじま・みか / 23歳】



赤羽目紘也さん
【あかばめ・ひろや / 21歳】

5年間勤務し、クッキーづくりをマスター。しかし、見た目の美しさを求められるケーキカットはまだまだ緊張するそう。パン・材料の計量を任せられるようになり、パンづくりも楽しそうでもっと勉強したいと意欲を燃やします

パティスリーで働いて3年目。生地を四角に整えながら伸ばしていく作業が難しいと話します。「実習生時代からアンサンプルのお菓子づくりが大好きだったので、このお菓子づくりがお客様に提供できることがうれしいです。生きがいです！」

パン、野菜も絶対美味しい」と、胸を張って語ります。野菜船には季節の野菜や果物10種類ほどが詰め込まれ、安全安心、フレッシュであるほか、箱を開けるのにワクワクさせられる楽しさがあります。初回限定のお試し野菜船には、アンサンプルクッキーのサービスも。パイやケーキのデザインもオリジナリティーと華やかさがあり、食べれば文句なしにおいしいとリピーターを増やし続けてきました。食品のみならず、アンサンプル会ではすべての製品が一般流通や市場の競争のなかでも勝てることを念頭に製造。価格もリーズナブルに設定され、購買意欲を高めています。

独自製法での畳床づくり 今後の施設運営の柱に

平成24年から、ひのきの間伐材を利用した畳床づくりがスタート。先行する製品がなくノウハウもないなか、血のにじむような努力を重ね、独自製法を編みだし特許も取得しました。アンサンプル会の「自然素材の畳床 ひのきの畳床」は26年に「間伐・間伐材利用コンクール」において林野庁長官賞を受賞しています。また28年には「人を大切にする経営学会」主催の「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の実行委員長賞も受賞。これまでの約16年の実績は、高い評価を受けています。

一人ひとり、障がいによる能力差は生じますが、「みんなが仕事をしている場所、環境にすることが大切で、仕事能力の低い人もみんな仲間と認め合っています。また、長時間じっと他

の人の作業を見ているだけの人も、ある時「やってみる？」というとなぜかやり始める。人それぞれできる能力は眠っているだけ。それを私たちは無理に引っ張りださず、自主的にやるうとするまでは見守っています。そして、日々ゆっくりとですが、必ず彼らは成長していく。3年、5年もすれば驚くほどはつきりとその成長がわかります。それはとてもうれしい」と小椋さん。

今月、ひのき畳床の中国への輸出が始まります。「中国人のご家庭で和室が非常に人気なのです。私も中国に行き、そのニーズを肌で感じてきたいと思っています。アンサンプル会の大きな柱としたい」と意欲的です。福祉施設でありながら、新たな挑戦を続けているアンサンプル会。皆が安心して、自由に過ごせる社会への期待感が膨らみます。



社会福祉法人アンサンプル会 常務理事・松川総施設長
小椋雅子さん
【おぐら・まさこ】
グループホームで出かけた場所を決めておしゃべりをして出かける「オシャレ倶楽部」や「メンズ倶楽部」を企画中。「これまで利用者の皆さんとキャンプや旅行を行ってきましたが、気の合う仲間だけで日帰り旅行に出かけられるほど成長している人たちがいます」と笑顔で話します

information

社会福祉法人 アンサンプル会

下伊那郡松川町元大島1339-1
TEL0265-34-0226
https://ws-ensemble.com